

顧客本位の業務運営に関する取組み状況（2021年6月）

項目	取組状況
1. 【顧客本位の業務運営に関する方針の策定・公表等】	<ul style="list-style-type: none"> ・2018年10月、当社は、「顧客本位の業務運営に関する原則」を採択するとともに、当社のホームページ上に「お客様の業務運営に関する方針」を公表しました。 ・2021年6月、当社は改訂された「顧客本位の業務運営に関する原則」を採択するとともに、「お客様の業務運営に関する方針に係る取組状況」を改訂しました。
2. 【顧客の最善の利益の追求】	<ul style="list-style-type: none"> ・当社の顧客は株主である地方金融機関であり、地方創生の観点から顧客の特性に留意するとともに商品の組成にあたっては、顧客の最善の利益を追求しています。
3. 【利益相反の適切な管理】	<ul style="list-style-type: none"> ・当社は、SBIグループのリソースを活用して、顧客のニーズにあった商品の提供を行います。利害関係人との取引を行った場合は、適切な開示に努めています。
4. 【手数料等の明確化】	<ul style="list-style-type: none"> ・顧客が負担する手数料や費用の詳細については、出来るだけ詳細な開示を行うよう努めています。
5. 【重要な情報の分かりやすい提供】	<ul style="list-style-type: none"> ・金融商品に関する重要情報の記載については、分かりやすい表現を用いるようにしています。 ・ファンド情報の開示にあたっては、明確、平易であって、誤解を招くことのない誠実な内容の情報提供を行うよう努めています。 ・当社は情報提供を行う情報について、重要性による区別を行い、より重要な情報については特に強調するなど顧客への注意喚起を行うよう努めています。
6. 【顧客にふさわしいサービスの提供】	<ul style="list-style-type: none"> ・私募投信については、当社の顧客は株主である地方金融機関であり、金融商品取引業者として、顧客にふさわしい金融商品やソリューションの提供に努めます。公募投信については、販売会社である地方金融機関より顧客ニーズを把握したうえで、商品組成に努めます。 ・当社は、商品の組成に当たり、商品の特性を踏まえた上で想定する顧客属性を特定・公表しています。 ・当社は、新商品の組成時には商品会議等において従業員にその仕組み等に説明することにより理解を深めます。また、販売用資料の作成にあたっては、当該商品に対する知識を得られるように積極的な情報提供に努めています。
7. 【従業員に対する適切な動機づけの仕組み等】	<ul style="list-style-type: none"> ・当社は、従業員研修時に顧客本位の業務運営についてその内容や取組み状況について説明し、内部統制に対する理解を深めています。